

有限会社 ますだ -ますだの落花生-



[創業年] 1945年(昭和20年)
[売場面積] 112㎡(33坪)
[事業従事者数] 8人
[営業時間] 9:00~18:00
[定休日] 火曜日 ※11,12月を除く

[商品構成]
・落花生・落花生関連商品 99%
・その他 1%

[店舗所在地] 千葉県八街市八街ろ26
[URL・SNS] <https://www.masuda-shop.co.jp/>

[経営理念]

- 「ピーナッツ」と言うより「落花生」という方が好き
「らっかせい」の言葉が持つあたたかさを・・・
- ・安全で本物のおいしさを追求し、日々の暮らしに価値ある商品を提供します。
 - ・生産農家と共に育ち力を合わせ、良質で安全な商品を創ることを追求します。
 - ・古き良き時代からの「家族、地域のつながりのある暮らし」のあり方を、落花生を通じて次の世代に伝え残すべく考え、行動します。

「小さな観光、小さな体験」で、お客様を年中お迎えする

【お店の概要】

当店は、落花生で有名な千葉県八街の地より、特産品である落花生を様々な取り組みでお客様に伝え、届けている。創業は、1945年（昭和20年）、初代が千葉県印旛郡八街町において、落花生及び乾麺の製造販売、住宅建築を目的とする「増田商店」を設立したことから始まる。その後、1970年（昭和45年）頃から落花生包装工場や一次加工工場、直売店等、落花生に関わる施設を拡大。2001年（平成13年）に法人化し、「有限会社ますだ」となる。2002年（平成14年）にはネットショップを開設。その後、二次加工工場の新設やトライアル農場の開始を始める等、更に事業を拡大。2020年（令和2年）、現代表である増田京輔氏が4代目として事業を承継し、代表取締役役に就任した。生産農家と共に育ち、力を合わせ、落花生を軸にお客様にワクワクを届けている。



一次加工工場・原料倉庫
・農業倉庫



2009年から始まったトライアル農場
試験的な栽培方法のトライアルを行う
とともにお客様との収穫体験の場である



生産農家と共に
落花生をつくる
体験

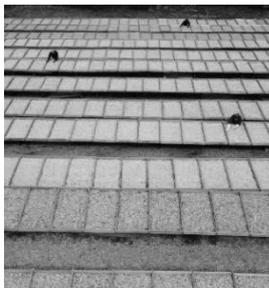
【お店の経営ノウハウ】

～繁忙期以外の時期に売上を伸ばす工夫「小さな観光、小さな体験」～

落花生の販売は繁忙期である10月～12月で売上の大半を占めている。安定的に収入を確保するためには、繁忙期以外の売上を伸ばすことが重要である。当社では、繁忙期に初めて当社を知ったお客様や、繁忙期のみに来店するお客様を、一年を通して来店頂ける様、季節ごとに来店を促す取り組みを行っている。地域の生産農家と共に地域の季節を感じられる「小さな観光、小さな体験」を提案している。具体的には、

- ・新豆期（10～12月）は、当社自慢の落花生の「天日干し乾燥」風景をマスコミの方を通してお客様に落花生の美味しさを届けている。11月11日（ピーナッツの日）は、落花生の掘み取りを実施。
- ・新年、節分（1～2月）は、福豆としてお歳暮、お年賀に代わる贈り物の提案。
- ・春（4月）には、店舗脇の圃場で千葉県の花である「菜の花畑」の実施（約20a）。
- ・初夏（6、7月）には、スイカ祭りを開催し、八街市の名産の「スイカ」および「とうもろこし」などの夏野菜の積極販売。
- ・真夏（8月）は、店舗脇の圃場で八街市の花である「ひまわり畑」の実施。初秋（9月）は、店舗脇の圃場で予約不要で気軽に体験を楽しめる落花生の収穫体験「落花生掘り」を実施している。
- ・初秋には、地元の美味しさとして地元産の「梨」の販売。

など、1年間を通してワクワクしてもらえるイベント「小さな観光、小さな体験」を提案し、お客様の来店を促している。



当社が一番こだわる
天日干しは地域の風物詩



地域農家の農産物を店舗で販売



秋の収穫体験